

平成29年度 公の施設目標管理型評価書【旧小澤家住宅】

施設名	新潟市文化財旧小澤家住宅		
管理者名	(公財)新潟市芸術文化振興財団	指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日
担当課	歴史文化課		
所在地	新潟市中央区上大川前通12番町2733番地		
根拠法令	文化財保護法		
設置条例	新潟市文化財旧小澤家住宅条例		
施設概要	敷地面積 1,626.44㎡ 施設 木造2階建て 延床面積867.03㎡ 離れ座敷, 道具蔵, 次ノ間, 寝間, 藤ノ間, 座敷, 仏間, 茶ノ間, 百合ノ間, 情報案内所, 2階座敷他 庭園		

施 設 設 置 目 的
<p>旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとして発展してきた本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報を広く提供するとともに、それらを通じて市民相互の交流を推進し、市民文化の向上及び地域の活性化に寄与することを目的として設置する。</p>
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 , 方 針 等
<p>1. 基本理念 「新潟市文化財旧小澤家住宅条例」に基づき、「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する」という旧小澤家住宅の設置目的を達成するための各種事業を行う。 施設の運営にあたっては、「新潟市歴史博物館・旧新潟税関庁舎等及び新潟市文化財旧小澤家住宅の指定管理に関する基本協定」「新潟市歴史博物館・旧新潟税関庁舎等及び新潟市文化財旧小澤家住宅の指定管理に関する年度協定」に従い、かつ各関連法規を遵守し、施設運営を通じて、新潟市の歴史文化施策の実現に努める。</p> <p>2. 活動方針 ①みなとまち新潟の歴史並びに生活文化を紹介する。 ②市民の歴史・文化に対する理解、親しみ、郷土への愛着を深める。 ③歴史・文化を媒体とした市民交流を行う。 ④文化財を保存・活用する。 ⑤新潟市の伝統工芸品の魅力紹介と販売促進に寄与する。 ⑥観光施設としての役割を担う。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	年間入館者数	年間入館者数1万6千人以上	15,396人	C	新規来館者・リピーターの獲得に向けたイベントの開拓に努めてほしい。
	企画展を年8本以上実施	企画展を年8本以上実施	「今伝えたい日本のものづくり」展、「端午の節句飾り」展、「館柳湾」展、「屏風」展、「海のことをもっと知ろう！ー海の生き物と漂着ゴミー」展、「新潟漆器」展、「風呂敷 新潟の心包み」展、「新潟仏壇工芸」展、「洋燈」展、「本町通ーむかしの町なみとくらしー」展、「ひな人形とからくり人形」展、「着物ー小澤家の品々ー」展(全12回)	A	小澤家の風合いに合うよう創意工夫を凝らしたイベントを実施した。
	教育普及事業の実施	歴史に関する講座等を年10回以上実施	庭園講習会、「新潟の妖怪のおはなし」、からくり人形の実演(8回)、「きなせや下町」(全11回)	A	指標を上回る回数実施した。
		体験プログラムを年12回以上実施	漆器製作体験(6回)、ふろしき講座、金具打ち体験(2回)、蒔絵体験、立川志の彦落語会、クリスマス飾り作り、正月飾りづくり、ひな人形作り(全14回)	A	伝統工芸の魅力を知る上で体験プログラムは重要であり、今後も次世代へ継承していくための企画を行ってほしい。
	学校との連携	小中学校の団体を年2回以上受け入れる	見学の際の解説(6回)を行った。企画展やイベントのチラシを近隣の小学校に配布した。学校の校外授業の際、トイレ休憩場所として情報案内所を提供した。	A	総合学習の要望に応え、積極的な受入れを行った。
	歴史文化事業の情報発信	ホームページ月3回以上更新し、情報発信を行う	1年間で38回の更新(月平均3.2回) ツイッターは1年間で193回の更新(月平均16回)	A	ホームページだけでなく、ツイッターの更新もこまめに行った。
	来館者アンケート満足度	来館者に対するアンケートで、「大変良かった」「まあ良かった」が70%以上	「大変良かった」「まあ良かった」合計98%	A	来館者に対するきめ細やかな対応が高評価に繋がった。今後も顧客ニーズを把握し、親切な対応を心掛けてほしい。
	市民からの問合せに対する対応	質問・問合せには速やかに対応	問い合わせには受付や電話で即時対応した。すぐにはわからない質問に対しては、調べた	B	
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望に対して、3営業日以内に回答	苦情・要望はなかった。	B	
	ボランティア事業	ボランティア会員の活動日数を年100日以上実施	年間107日(ガイド数1,318人) 勉強会を開き、ボランティアガイド企画として「本町通ーむかしの町なみとくらしー」展を開催した。	A	指標を上回る回数実施した。
財 務	管理経費の削減	管理運営経費を指定管理料年度協定額以下	協定額30,269,000円 決算額28,069,666円	A	経費の削減に努め、協定額以下に納めた。
	市の歳入確保	歴史文化事業費の執行額に占める観覧料等収入の割合70%以上	文化事業費1,789,110円 収入2,021,552円(観覧料・物品売払料・設備使用料・事業収入・寄付金収入) 113%	A	指標を上回る割合となった。

業 務	他施設との連携	他施設との連携事業を年2回以上実施	「今伝えたい日本のものづくり」展（アート・ミックス・ジャパン実行委員会）、「屏風」展（新潟市歴史博物館）、「海のこともっと知ろう！ー海の生き物と漂着ゴミー」展（（社）JEAN・マリニピア日本海）、「新潟漆器」展（新潟市漆器同業組合）、「風呂敷 新潟の心包み」展（ふろしきや）、「新潟仏壇工芸」展（新潟市仏壇組合）、「洋燈」展（新潟ハイカラ文庫）、「ひな人形とからくり人形」展（新潟ハイカラ文庫） からくり人形の実演（越後大郷からくり館）、「きなせや下町」（新潟大学工学部建設学科・下本町商店会旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会・みちLab.）、山野草の展示（花や木下）、「フレッシュ本町まつりスタンブラリー」（下本町商店会、入船地藏尊）、「クリスマス飾りづくり」「花で彩る」（水曜日のお花の会）、「正月飾りづくり」「ひな人形づくり」（新潟アグリクラブ） 「周辺の歴史的町並みの保存・活用」（旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会）（全17回）	A	各種団体・施設と連携し、指標を大幅に上回る回数実施した。常設の展示品のみでは集客に限界があるため、積極的に連携を図ってほしい。
	日常連絡の適切さ	3か月毎の管理業状況報告の期限内提出	それぞれ7月20日、10月20日、1月20日、翌年度4月20日までに提出した。	B	
	安全確保体制の確立	防火管理者の選任及び防災訓練を年2回以上実施	防火管理者による防災訓練を2回実施した。今年度はミサイル落下時の訓練と、近隣からの延焼の場合を想定した訓練も行った。	A	不測の事態に備えた訓練をした。
	文化財の適正な管理	条例、規則、協定等に基づく適正な管理の実施	文化財の適正な管理に努めた。	B	
	歴史資料の適正な管理	施設内での虫干し等を年1回以上実施	虫干しと館内メンテナンスを1回ずつ、計2回行った。	B	
	施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の年1回実施	1回実施。	B	
		施設設備関係の各種法定点検の確実実施	防災設備を2回点検した。	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	連絡体制の確立	連絡網を実態に合わせて修正した。再委託業者の連絡網も作成した。	A	新たに、委託業者連絡網作成も行った。
業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	協定等に基づき、適正な管理運営を行った。	B		
人 材	職員研修の実施	専門員及び事務職員に対する研修を年2回以上実施	IPM研修（館長） マネジメント研修（職員2名）	B	
	接遇マナーの維持・向上	接遇研修を年1回以上実施	受付職員2名が、みなとびあで1回ずつ実施。	A	研修実施によりマナーをもって対応できるよう努めた。

#### 指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

<p>入館者数が目標を下まわった。冬期の大雪の影響とみられる。企画展をはじめ、体験講座やイベントで新規来館者を獲得しつつ、季節のしつらいも工夫して、何度訪れても楽しめる施設を目指したい。</p> <p>新潟市域の歴史・文化の魅力を市内外に広めることを目標に、近隣の博物館や新潟市の施設をはじめ、地元の大学や小中学校、団体と連携した多数の事業を行っている。</p> <p>旧小澤家住宅および新潟の魅力を伝えるために、ボランティアガイドも熱心に活動しており、ボランティア企画による企画展は今年度で5回目となった。</p> <p>新潟市の貴重な文化財を管理しているという意識を常に持ち、来館者の安全にも心を配りながら、湊町新潟の町家の生活を体感できる施設として、活用も積極的に行っている。</p> <p>また、庭園管理の面では、寄贈前から当庭園の管理に携わっている再委託業者と意見交換を図り、きめ細かい管理運営計画を行っている。</p>
---

#### 所 管 課 に よ る 総 合 評 価 （ 所 見 ）

<p>冬季、新潟が8年ぶりの大雪に見舞われた影響もあり、残念ながら思うように客足が伸びなかった。しかし、近隣の学校・団体等と連携した事業を目標回数以上実施し、市民に対する積極的な情報発信・教育の普及に寄与できたとと言える。</p> <p>また、来館者アンケートでは毎年高評価を得ており、きめ細やかな対応が根付いていることが伺える。</p> <p>今年度はいよいよ本市が開港150周年を迎え、市内各施設で関連イベントが企画される中で、みなとまち新潟の基盤を築いた商家として魅力を十分に発揮し、集客に努めていただきたい。</p>
--

#### 評価基準

- A 要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準（＝評価指標）が達成されている。
- C 要求水準（＝評価指標）が達成されていない。